

みちよ先生

わたしの大切なもの

「母子手帳入れ」

「私のたいせつなもの」と題材を頂き、私の大切にしている『もの』

について考えました。実は私は作る事が好きなんです。我が子が小さい頃は

子どもの服を作ったり、カバンを作ったりと色々な物を作ってきました。その中でも思い出に残る大切なことがあります。それは子どもが授かった時に使用する「母子手帳入れ」です。子どもの名前を入れ、我が子をイメージしての色やキャラクターを選んで作りました。今でも大切に保管しています。時々、タンスの引き出しを覗き込み、小さいころを思い出しながら浸る時もあるんです(。^。)もし将来、我が子が結婚し子どもを授かり私がおばーちゃんになった時には、孫にも母子手帳入れを作つてあげたいと思っています。



子どものつぶやき ことば&アート

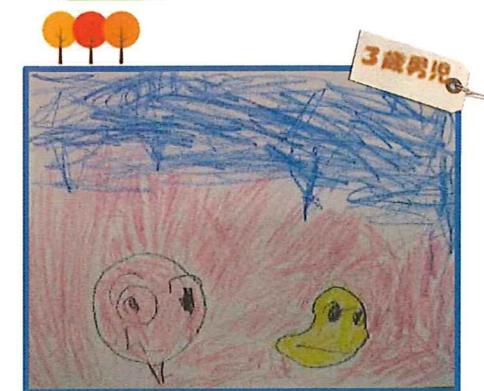


すこやかセンターにお散歩に行った1歳児さん。

Aちゃん「おじちゃん、すわってる！」

保育者が周りを探してみると、だれもいない…。

「平田東助の銅像」の事を言っていたようです。



3歳児

…ふくえんど…

ぶらんこ担当に戻って参りました。お久しぶりな方、はじめての方、またどうぞよろしくお願ひ致します！

先日、飯豊少年自然の家で「焼いも体験」をしてきました。新聞紙とアルミホイルでさつまいもを包んで、火の中で焼いて…。自分が小学生の頃は近所の友達で集まって、落ち葉を集めてよくやったのにな…。今は中々簡単に出来なくなつたな…。なんてちょっと寂しい気持ちになりながらも、出来上がった焼いもはとっても良い香りでホクホクでお腹も心も満たされたのでした。

ぶらんこ担当 坂野 春佳

ぶらんこ

第90号 2019年11月22日

松ヶ岬保育園

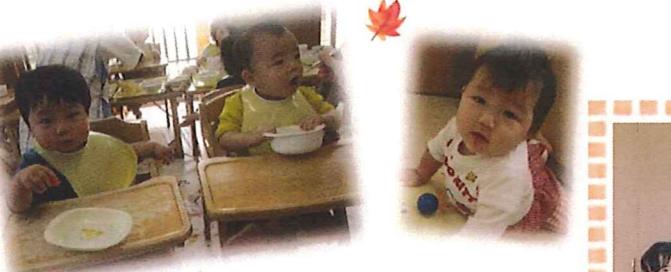
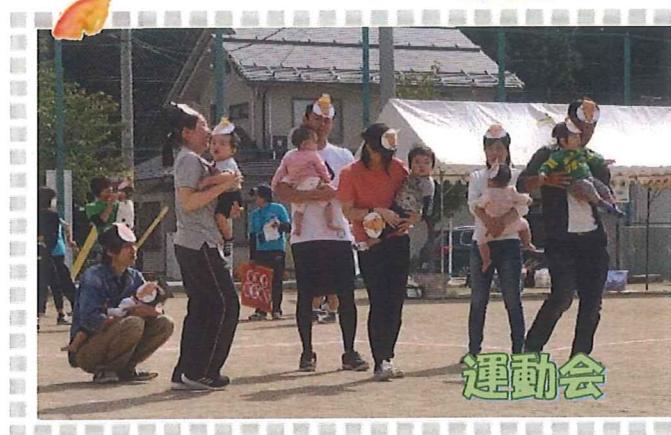
〒992-0059

米沢市西大通1丁目6-56

TEL21-0349/FAX21-0369

E-mail matsuga@smile.ocn.ne.jp

<http://www.syogokai.jp/matsugasaki/>





子育てで困ったときに役立つちょっとしたアドバイスをお伝えします！

テーマ：歯磨き

Q：初めての歯が生えてきて、そろそろ歯磨きをしなきゃ！でも、どうやつたらいいのかな？



A：歯が生えてくる時期にはかなりの個人差があるけど、生後6ヶ月頃に下の前歯が生えてくる子が多いみたい。生え始めの時期はゴシゴシ磨かずにガーゼで優しくぬぐってあげるだけで大丈夫！この頃はよだれもたくさん出ている時期。このよだれが生え始めの歯をしっかりと守ってくれているんですって。

この時期からのガーゼ磨きが、その後の歯ブラシでの歯磨きへのスムーズな移行に繋がっていくよ。

Q：歯磨きを嫌がるんだけど、何か良い方法はないかな？



A：小さいうちからパパやママの歯磨きをしている様子を見て、怖くないことをアピールしていくのはいいことよ。見て楽しそうと思うと「やってみたい」の気持ちに繋がっていくみたい！仕上げ磨きとするときは、まずは「おくちの中キレイキレイしよう」「バイキンさんやっつけよう」とお話しをして、心構えができるようにしよう。急に仰向けにされて口を触られたら大人だってビックリしますもんね。



ちっちゃい頃の思い出

お父さん、お母さんがちっちゃい頃はどんな子どもだったのかな？どこでどんな事して遊んでいたのかな？思い出のエピソードをご紹介！！

遠藤 樹くんのお父さん
遠藤 哲さん



ご指名頂きましたので、恥ずかしながら書きたいと思います。

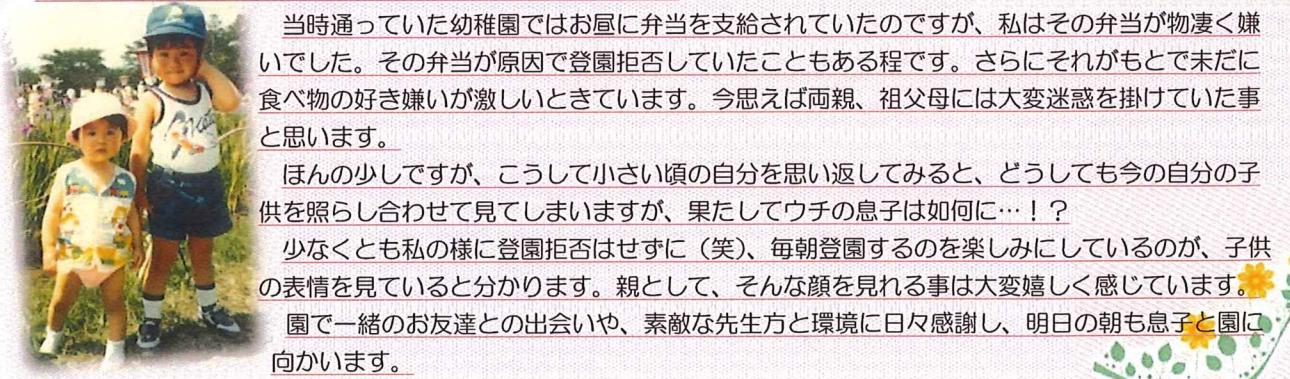
私が小さい頃の思い出を言うと、1番古いものでいつの頃のものになるのか記憶が前後している部分がありますが、多分5歳の頃のものかなあと思います。当時幼稚園に通っていた私は、それはそれは大人しく慎重派で控えめな性格の子供だったと思います。しかし、家に帰れば妹が2人いる3人兄妹の長男で、妹には強気な内弁慶タイプでした。そんな私にも仲の良かった男友達が2人いて、砂場などで遊んでいた情景がこの文章を書きながら少しずつ浮かんできている所です。友達といつても、どちらかと言うと私の方が必死で遊びについていく感じだったかもしれません…。

当時通っていた幼稚園ではお昼に弁当を支給されていたのですが、私はその弁当が物凄く嫌いでました。その弁当が原因で登園拒否していたこともある程度です。さらにそれがもとで未だに食べ物の好き嫌いが激しいときています。今思えば両親、祖父母には大変迷惑を掛けている事と思います。

ほんの少しだけ、こうして小さい頃の自分を思い返してみると、どうしても今の自分の子供を照らし合させて見てしまいますが、果たしてウチの息子は如何に…！？

少なくとも私の様に登園拒否はせずに（笑）、毎朝登園するのを楽しみにしているのが、子供の表情を見ていると分かります。親として、そんな顔を見れる事は大変嬉しく感じています。

園で一緒のお友達との出会いや、素敵なお先生方と環境に日々感謝し、明日の朝も息子と一緒に向かいます。



我が家ベストショット☆

悠乃ちゃん・ひかりちゃんのママ（ぴっこ）
神保 紘子さん



我が家には5歳になったばかりの長女と1歳10ヶ月の二女がいます。姉はどちらかというとお絵描きやぬり絵をしたり、連続ドラマや映画を見たりするのが好きな穏やかな性格の女の子です。一方の妹は、お外遊びが大好きで、痛みに強く予防接種は決して泣かない、たくましい女の子です。性格は真逆だけれども、妹は姉が大大大好き！！最近ではトイレにまでついていく程。姉が遊んでいるものは何でもまねしたがるため、ここでいつも姉妹喧嘩が勃発します。これが1日に何度あることか。この写真も姉のまねっこで頭にブロックを飾るという何とも斬新で不思議な光景ですが、この一生懸命姉に近づこうとする姿がとても健気で可愛く、お気に入りのベストショットです。

そんな平和な日もあれば、つくづく育児って大変なあ～と思うことも沢山あります。スムーズに物事が進まない時はもうイヤ～と弱音を吐きたくなります。例えば、ご飯の支度で火を使っている時に、グズって足にまとわりつかれたり、出かける準備をしたいのに、テーブルの麦茶がこぼれたり(立)。そんな時はこみあげる怒りを5秒程グッとこらえ、簡単な献立に途中から切り替えたり、こぼれたお茶を子供達に拭かせる競争をさせたり、臨機応変に工夫し、なるべくママ自身鬼にならず、笑顔で1日1日を終えることを心がけています。

これから子供達が成長するにつれ、沢山の試練や悩み事も出てくるでしょうが、となりのトトロのサツキとメイの様に姉妹で協力して乗り越えていって欲しいなあ～と期待しています。

松ヶ岬保育園の看護師さんの情報発信コーナー

はるか先生の
救急箱

今回のテーマは…

～インフルエンザと風邪の違い～

毎年、秋ごろから流行するのがインフルエンザ。風邪だと思っていたらインフルエンザだったという人もいるのではないでしょうか。そこで今回はインフルエンザと風邪の違いと、インフルエンザを予防するポイントについてお話しします。

インフルエンザ		風邪
インフルエンザウイルス	原因	細菌やウイルス
秋～冬にかけて	時期	1年を通して
高熱、関節痛、鼻水など全身症状	症状	発熱、鼻水、喉の痛みなど
急激	症状の表れ方	ゆっくり
家族など周囲に感染が大流行することも ※鼻汁、唾液にはウイルスがたくさんです。	周囲への伝染	多くの人には感染が広がらない場合が多い
インフルエンザ脳症や気管支炎など	合併症	安静にし、休養をとることで、ひどくならないことが多い

インフルエンザを予防する5つのポイント！

- ① 外から帰ったら必ず手洗い、うがいをしましょう。鼻汁をかんだ後も、手を洗いましょう。
- ② 栄養のある食事とたっぷりの睡眠をとりましょう。
- ③ なるべく人混みは避けるか、マスクをしましょう。
- ④ 部屋の室温は20℃前後、湿度は40～60%程度を保つようにしましょう。
- ⑤ 早めに予防接種を受けるようにしましょう。

